

# 食品産業動向調査結果

- 1 食品産業の景況について
- 2 今後の経営発展に向け取り組みたい課題等について
- 3 農林水産物の利用・調達について

## 調査要領

調査時点 令和8年1月

調査方法 調査票による郵送調査とインターネット調査を併用

調査対象企業

公庫取引先を含む全国の食品関係企業(※) 6,830社

有効回収数 2,133社 (回収率:31.2%)

<内訳>	食品製造業	1,325社
	食品卸売業	564社
	食品小売業	182社
	飲食業	62社

(※)以降、本資料においては、「食品製造業」を「製造業」、「食品卸売業」を「卸売業」、「食品小売業」を「小売業」として表記。

景況判断のため、アンケート結果からDI値を算出。

DI(Diffusion Index = 動向指数)とは、「増加する(良くなる)」と回答した企業の割合から「減少する(悪くなる)」と回答した企業の割合を差し引いた数値。

詳しい調査結果を当公庫ホームページ(<https://www.jfc.go.jp/>)に掲載しています。トップページから「刊行物・調査結果」→「農林水産事業」→「食品産業動向調査」の順でご覧いただくか、右の2次元コードでもアクセス可能です。(通信料はお客様のご負担となります)



<調査に関するお問い合わせ>

日本政策金融公庫 農林水産事業本部 情報企画部 TEL 03-3270-5585

注:図表において、四捨五入の関係上、合計が一致しない場合があります。

令和8年3月



日本政策金融公庫  
農林水産事業

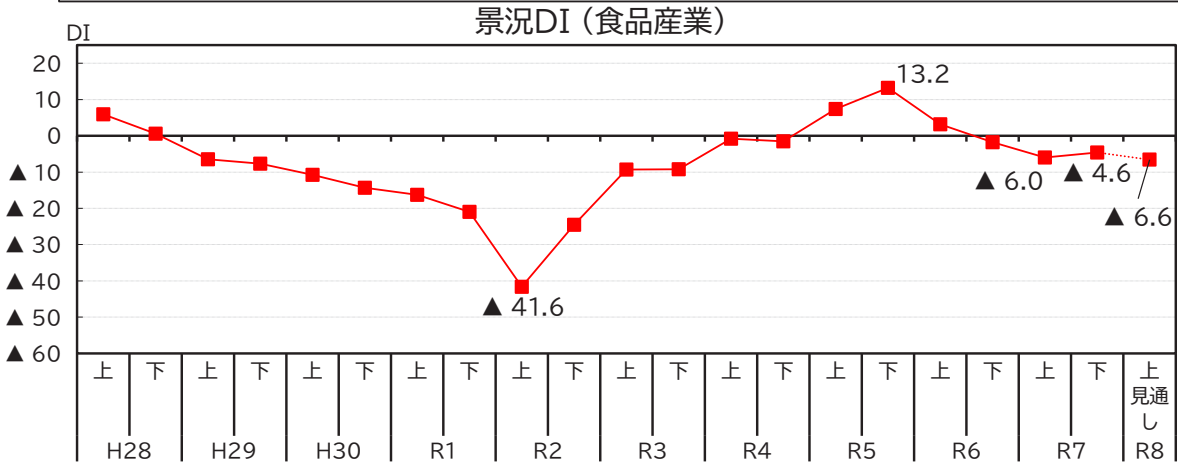


この冊子に使われている紙は、日本の森林を育てるために  
間伐材を積極的に使用しています。

# 1 食品産業の景況について

## 景況DI (景況DIは、売上高DI、経常利益DI、資金繰りDIを単純平均して算出)

【令和7年下半期実績】  
 ・景況DI(回答先全体)は、前回(令和7年上半期)から1.4ポイント上昇したものの、▲4.6となりマイナス値が継続した。  
 【令和8年上半期見通し】  
 ・景況DI(回答先全体)は、令和7年下半期から2.0ポイント低下して▲6.6となり、引き続きマイナス値で推移する見通し。

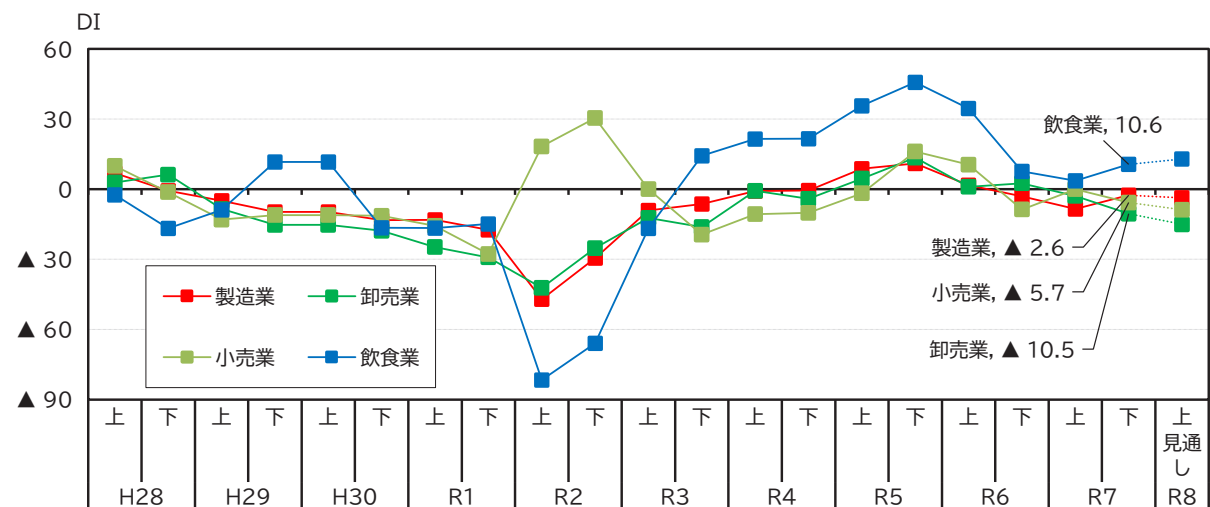


	令和3年 下半期	令和4年 上半期	令和4年 下半期	令和5年 上半期	令和5年 下半期	令和6年 上半期	令和6年 下半期	令和7年 上半期	令和7年 下半期 実績	令和8年 上半期 見通し
回答先全体	▲ 9.2	▲ 0.8	▲ 1.5	7.4	13.2	3.2	▲ 1.8	▲ 6.0	▲ 4.6(+1.4)	▲ 6.6(-2.0)

( )は前回との差

## 業種別景況DI

【令和7年下半期実績】  
 ・業種別景況DIは、製造業と飲食業が前回(令和7年上半期)から上昇した。一方、卸売業と小売業は前回から低下した。  
 【令和8年上半期見通し】  
 ・業種別景況DIは、製造業、卸売業、小売業が令和7年下半期から低下する見通し。



	令和3年 下半期	令和4年 上半期	令和4年 下半期	令和5年 上半期	令和5年 下半期	令和6年 上半期	令和6年 下半期	令和7年 上半期	令和7年 下半期 実績	令和8年 上半期 見通し
製造業	▲ 6.3	▲ 0.8	▲ 0.5	8.7	11.0	1.7	▲ 3.0	▲ 8.5	▲ 2.6(+5.9)	▲ 3.7(-1.1)
卸売業	▲ 16.2	▲ 0.7	▲ 4.1	4.5	13.5	1.0	2.5	▲ 2.9	▲ 10.5(-7.6)	▲ 15.0(-4.5)
小売業	▲ 19.4	▲ 10.7	▲ 10.1	▲ 1.8	16.1	10.5	▲ 8.7	0.0	▲ 5.7(-5.7)	▲ 8.8(-3.1)
飲食業	14.3	21.5	21.6	35.7	45.7	34.5	7.6	3.6	10.6(+7.0)	12.9(+2.3)

( )は前回との差

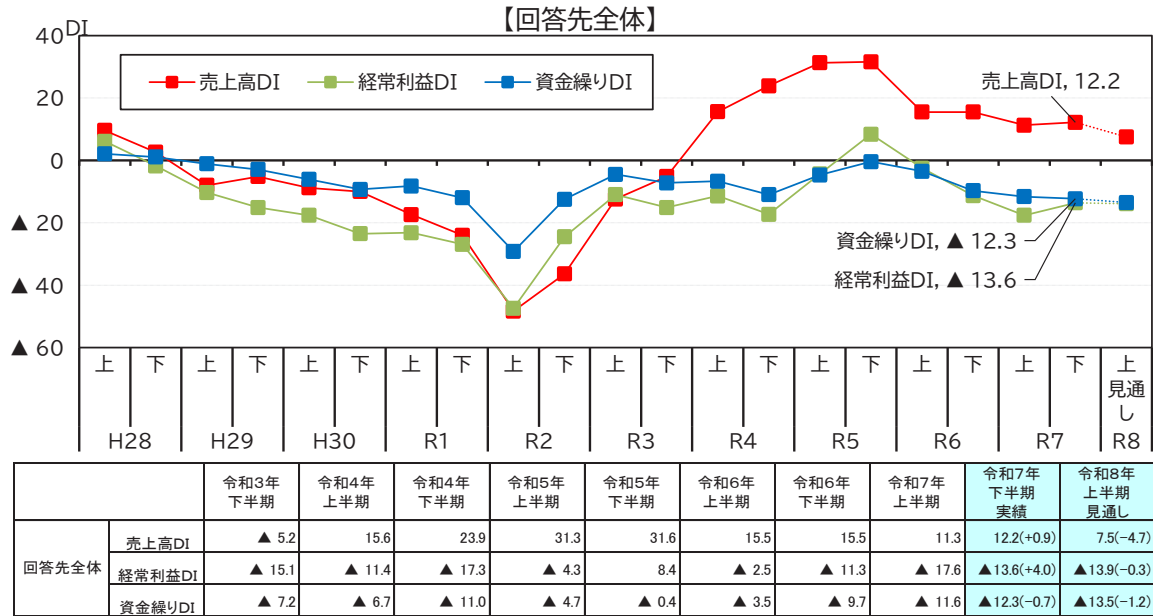
**売上高DI・経常利益DI・資金繰りDI** (「増加・上昇・楽になった」の割合から「減少・低下・苦しかった」の割合を引いた値)

**【令和7年下半期実績】**

- ・売上高DIは、前回(令和7年上半期)から横ばい推移し、12.2となった。
- ・経常利益DIは、前回(令和7年上半期)から4.0ポイント上昇し、▲13.6となった。
- ・資金繰りDIは、前回(令和7年上半期)から横ばい推移し、▲12.3となった。

**【令和8年上半期見通し】**

- ・売上高DIは、令和7年下半期から4.7ポイント低下し、7.5となる見通し。
- ・経常利益DIは、令和7年下半期から横ばい推移し、▲13.9となる見通し。
- ・資金繰りDIは、令和7年下半期から1.2ポイント低下し、▲13.5となる見通し。



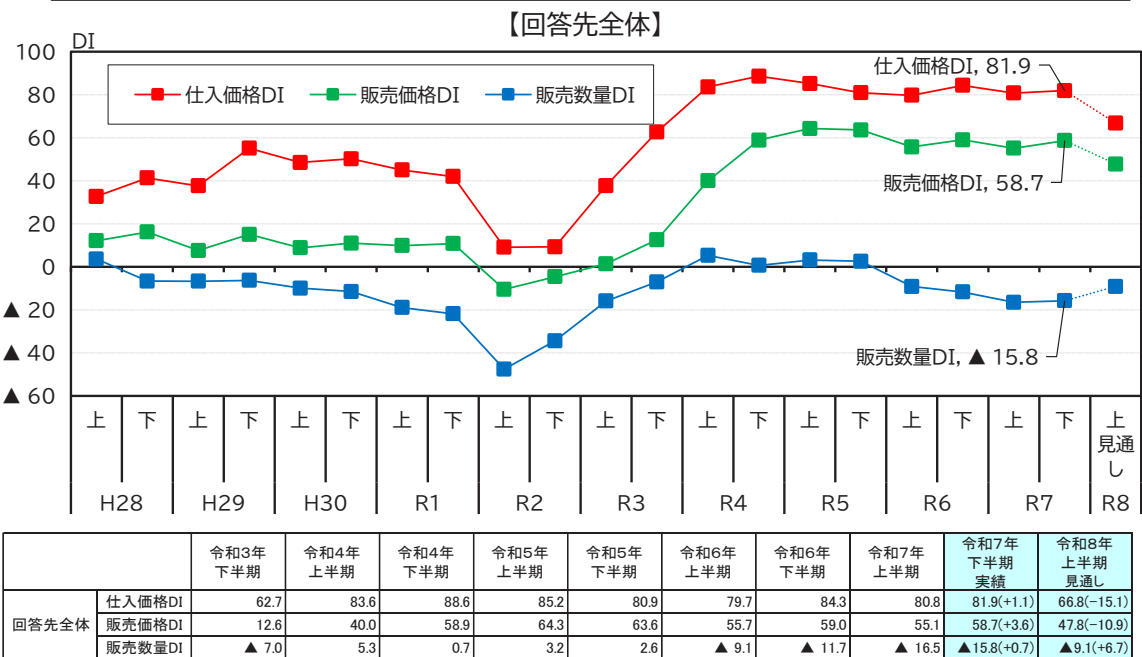
**仕入価格DI・販売価格DI・販売数量DI** (「増加・上昇」の割合から「減少・低下」の割合を引いた値)

**【令和7年下半期実績】**

- ・仕入価格DIは、前回(令和7年上半期)から1.1ポイント上昇し、81.9となった。
- ・販売価格DIは、前回(令和7年上半期)から3.6ポイント上昇し、58.7となった。
- ・販売数量DIは、前回(令和7年上半期)から横ばい推移し、▲15.8となった。

**【令和8年上半期見通し】**

- ・仕入価格DIは、令和7年下半期から15.1ポイント低下し、66.8となる見通し。
- ・販売価格DIは、令和7年下半期から10.9ポイント低下し、47.8となる見通し。
- ・販売数量DIは、令和7年下半期から6.7ポイント上昇し、▲9.1となる見通し。



【参考】景況DI（業種別詳細）

業種／業態	景況		売上高		経常利益		資金繰り		
	令和7年 下半期 実績	令和8年 上半期 見通し	令和7年 下半期 実績	令和8年 上半期 見通し	令和7年 下半期 実績	令和8年 上半期 見通し	令和7年 下半期 実績	令和8年 上半期 見通し	
製 造 業	食 肉 加 工 品	▲ 3.0	▲ 6.1	14.1	5.0	▲ 10.1	▲ 11.1	▲ 13.1	▲ 12.1
	牛 乳 ・ 乳 製 品	17.9	18.5	44.4	44.4	16.7	12.9	▲ 7.4	▲ 1.9
	水 産 食 品	▲ 16.2	▲ 13.7	▲ 2.0	▲ 7.9	▲ 29.6	▲ 14.9	▲ 16.9	▲ 18.3
	農 産 保 存 食 品	▲ 5.6	▲ 7.3	6.9	4.9	▲ 8.9	▲ 10.9	▲ 14.9	▲ 15.9
	調 味 料	▲ 9.8	▲ 5.5	13.6	8.8	▲ 22.5	▲ 10.7	▲ 20.4	▲ 14.5
	糖 類	▲ 5.5	0.0	▲ 16.6	0.0	0.0	▲ 16.6	0.0	16.7
	精 穀 ・ 製 粉	11.7	▲ 9.9	21.6	2.7	18.9	▲ 24.3	▲ 5.4	▲ 8.1
	パ ン	11.5	9.0	26.9	15.4	7.7	19.2	0.0	▲ 7.7
	菓 子	0.0	▲ 4.9	27.6	14.7	▲ 12.9	▲ 15.4	▲ 14.7	▲ 14.1
	油 脂	▲ 42.9	4.8	▲ 28.6	28.6	▲ 71.4	0.0	▲ 28.6	▲ 14.3
	め ん 類	9.0	2.0	18.7	10.4	12.5	▲ 2.2	▲ 4.2	▲ 2.1
	冷 凍 食 品	3.5	3.6	25.5	27.7	▲ 6.4	▲ 6.3	▲ 8.5	▲ 10.7
	炊 飯 ・ そ う 菜	▲ 6.8	5.5	22.2	27.7	▲ 27.8	▲ 3.7	▲ 14.8	▲ 7.4
	飲 料	9.8	6.9	41.2	35.3	8.9	2.9	▲ 20.6	▲ 17.6
	酒 類	▲ 18.1	▲ 16.3	3.2	3.2	▲ 29.4	▲ 24.7	▲ 28.1	▲ 27.3
	そ の 他	14.0	7.3	28.5	26.3	13.5	1.1	0.0	▲ 5.4
	(製造業計)①	▲ 2.6	▲ 3.7	16.4	11.9	▲ 10.5	▲ 9.6	▲ 13.6	▲ 13.4
卸 売 業	各 種 商 品	7.4	▲ 3.7	33.3	16.6	0.0	▲ 16.7	▲ 11.1	▲ 11.1
	穀 類 ・ 豆 類	7.7	▲ 33.8	33.4	▲ 17.4	▲ 1.5	▲ 52.2	▲ 8.7	▲ 31.9
	青 果 物	▲ 26.9	▲ 20.8	▲ 32.5	▲ 17.8	▲ 40.4	▲ 30.5	▲ 7.7	▲ 14.2
	食 肉	▲ 4.5	2.4	17.4	17.4	▲ 19.1	▲ 1.4	▲ 11.7	▲ 8.7
	生 鮮 魚 介	▲ 19.1	▲ 21.3	▲ 15.1	▲ 23.3	▲ 25.2	▲ 27.3	▲ 17.1	▲ 13.3
	そ の 他 生 鮮 品	▲ 38.5	▲ 24.2	▲ 51.8	▲ 24.2	▲ 42.9	▲ 24.2	▲ 20.7	▲ 24.1
	そ の 他 飲 食 品	13.9	4.2	27.8	16.7	13.9	▲ 1.4	0.0	▲ 2.8
(卸売業計)②	▲ 10.5	▲ 15.0	▲ 2.1	▲ 6.9	▲ 19.5	▲ 23.7	▲ 10.0	▲ 14.3	
(小売業計)③	▲ 5.7	▲ 8.8	18.7	11.0	▲ 20.9	▲ 21.4	▲ 14.9	▲ 15.9	
(飲食業)④	10.6	12.9	36.7	35.5	▲ 5.0	3.3	0.0	0.0	
(食品産業計)①～④計	▲ 4.6	▲ 6.6	12.2	7.5	▲ 13.6	▲ 13.9	▲ 12.3	▲ 13.5	

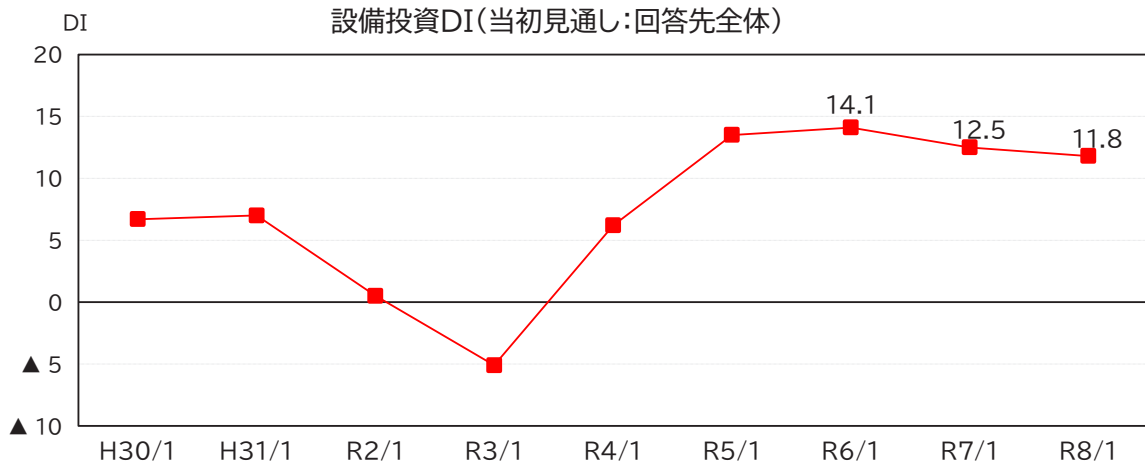
お天気マークは、DI値によって次のとおりとしています。



## 設備投資DI (「増加」の割合から「減少」の割合を引いた値)

【令和7年当初見通し】

・設備投資DI(令和8年当初見通し)は、前年(令和7年当初見通し)から横ばい推移し11.8となった。



	平成30年1月	平成31年1月	令和2年1月	令和3年1月	令和4年1月	令和5年1月	令和6年1月	令和7年1月	令和8年1月
回答先全体	6.7	7.0	0.5	▲ 5.1	6.2	13.5	14.1	12.5	11.8(-0.7)
うち製造業	6.2	7.4	2.8	▲ 6.0	6.8	14.9	15.3	12.5	14.3(+1.8)
うち卸売業	6.6	7.9	▲ 4.8	▲ 8.2	0.7	9.5	10.0	12.3	5.6(-6.7)
うち小売業	7.8	4.0	▲ 7.1	10.4	9.4	12.7	11.4	10.9	11.0(+0.1)
うち飲食業	18.4	▲ 3.8	9.6	▲ 7.5	28.6	18.6	30.8	19.7	18.0(-1.7)

( )は前年との差

※1月調査における設備投資DIを「当初見通し」とする。

## 投資計画の主な内容

・投資計画の主な内容は、「更新・維持・補修」がすべての業種で最も多かった。  
 ・次いで、製造業、卸売業、小売業では「省力化・合理化」が多く、飲食業では「能力拡充(増産・増床含む)」が多かった。

(複数回答可)

[%]

	製造業 n=1,314	卸売業 n=560	小売業 n=182	飲食業 n=62	回答先全体 N=2,118
更新・維持・補修	54.3	48.6	53.8	51.6	52.6
省力化・合理化	16.8	13.8	20.9	11.3	16.2
能力拡充(増産・増床含む)	11.5	9.8	11.5	29.0	11.6
新商品対応・研究開発	4.7	1.8	1.6	0.0	3.5
輸出・海外展開	2.6	1.6	0.0	0.0	2.0
衛生管理	2.0	1.6	1.1	0.0	1.7
その他	0.2	0.4	1.1	0.0	0.3
予定なし	12.0	24.8	14.3	9.7	15.5

※回答した割合が高い上位2項目について、高い順に濃い色で塗りつぶしを行った。

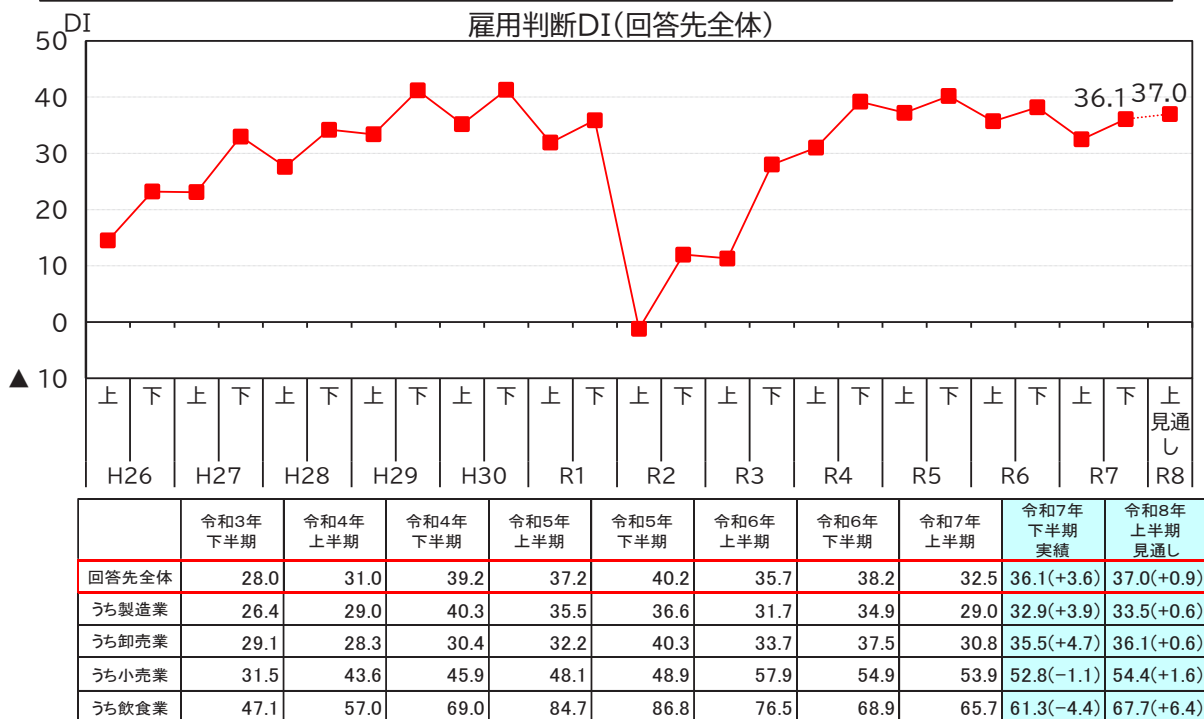
## 雇用判断DI (「不足」の割合から「過剰」の割合を引いた値)

### 【令和7年下半期実績】

・雇用判断DIは、前回(令和7年上半期)から3.6ポイント上昇し36.1となった。

### 【令和8年上半期見通し】

・雇用判断DIは、令和7年下半期から横ばい推移し、37.0となる見通し。



( )は前回との差

## 2 今後の経営発展に向け取り組みたい課題等について

・今後の経営発展に向け取り組みたい課題は、「人材確保」がすべての業種で最も多かった。  
 ・次いで、製造業では「価格転嫁」、卸売業では「販路の多様化」、小売業と飲食業では「人材育成」が多かった。

(3つまで回答) [%]

	商品・生産物の見直し、開発	販路の多様化	輸出促進	原料・商品の安定調達	原料・商品の調達先との連携強化	価格転嫁	人材確保	人材育成	省力化・省人化	設備合理化・増強	物流の合理化	資金繰りの安定	資本増強	その他	
製造業	令和6年1月	42.0	18.7	21.4	26.5	17.1	41.2	37.3	24.8	24.3	3.7	12.4	2.6	0.6	
	令和6年7月	44.1	18.5	21.0	27.9	14.7	36.6	36.6	27.5	24.4	4.7	12.1	2.2	0.3	
	令和7年1月	45.8	17.7	18.8	29.9	13.8	38.3	35.6	30.3	24.0	4.3	13.7	2.4	0.6	
	令和7年7月	40.1	17.8	18.4	28.4	12.1	32.1	37.6	29.6	25.1	20.3	4.5	13.6	2.1	0.3
	令和8年1月	30.5	28.6	19.8	32.1		33.6	38.4	28.0	27.3	22.5	4.2	12.3		0.3
卸売業	令和6年1月	30.8	20.2	11.2	27.6	28.6	44.9	40.4	14.8	12.4	12.8	17.3	3.8	1.1	
	令和6年7月	28.2	20.7	11.8	28.2	26.2	39.7	40.7	18.7	10.5	18.9	14.8	2.0	0.5	
	令和7年1月	27.5	21.1	10.7	32.3	22.2	48.0	37.9	17.6	13.3	16.6	16.8	2.4	0.4	
	令和7年7月	24.5	19.7	10.3	31.7	21.4	28.2	44.1	38.6	15.9	10.1	16.1	1.8	0.3	
	令和8年1月	18.9	41.7	10.2	35.7		29.2	44.0	37.6	20.3	11.2	16.4	13.0		0.4
小売業	令和6年1月	35.0	15.8	4.0	16.9	14.7	49.2	54.2	28.2	19.2	8.5	14.1	5.1	1.7	
	令和6年7月	40.0	14.5	3.0	17.5	15.0	49.0	55.5	34.5	20.5	7.5	7.5	6.5	1.0	
	令和7年1月	40.9	16.7	4.3	18.3	14.5	51.6	48.4	38.2	19.4	11.3	11.3	4.3	0.5	
	令和7年7月	37.7	10.5	3.7	25.1	12.0	23.0	50.8	47.6	33.0	18.3	7.3	11.0	4.2	0.5
	令和8年1月	29.8	13.8	3.9	18.8		26.0	53.6	50.3	39.8	21.0	9.9	16.0		0.6
飲食業	令和6年1月	35.8	25.4	3.0	23.9	11.9	73.1	52.2	32.8	10.4	1.5	10.4	1.5	0.0	
	令和6年7月	35.3	26.5	2.9	33.8	5.9	69.1	47.1	20.6	8.8	2.9	11.8	1.5	0.0	
	令和7年1月	39.3	13.1	4.9	32.8	14.8	68.9	42.6	18.0	9.8	1.6	19.7	4.9	0.0	
	令和7年7月	25.0	20.3	4.7	34.4	6.3	31.3	75.0	46.9	23.4	9.4	0.0	9.4	0.0	0.0
	令和8年1月	24.2	16.1	4.8	30.6		33.9	61.3	56.5	27.4	4.8	1.6	12.9		0.0

※「価格転嫁」の選択肢は、令和7年7月調査より設定。

※「原料・商品の調達先との連携強化」及び「資本増強」の選択肢は、令和8年1月調査より除外。

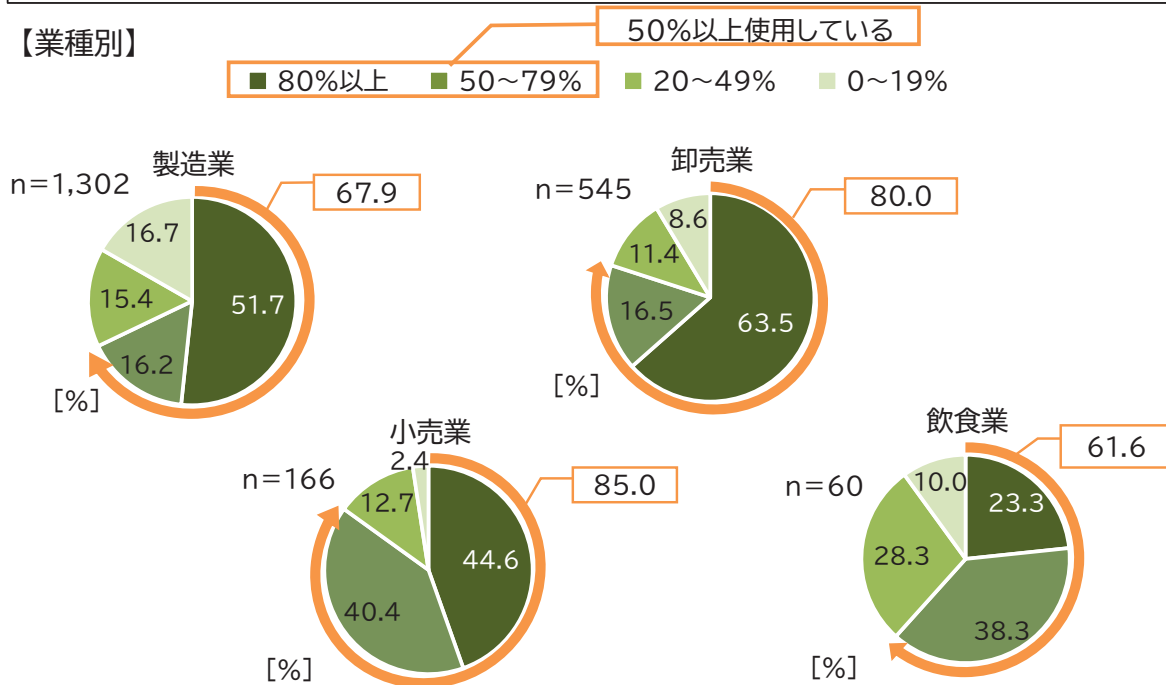
※回答した割合が高い上位2項目について、高い順に濃い色で塗りつぶしを行った。

### 3 農林水産物の利用・調達について

#### 原材料として使用する農林水産物に占める国産の割合

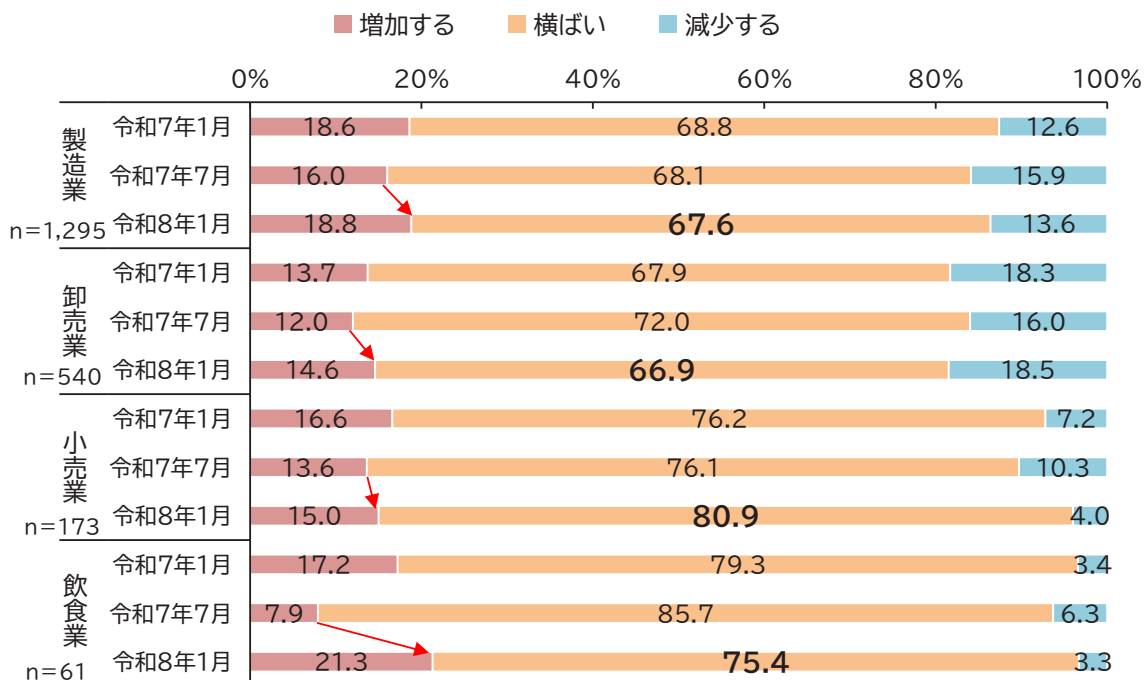
- ・原材料として使用している農林水産物は、国産を50%以上使用していると回答した事業者がすべての業種でも6割超となった。
- ・また、国産を80%以上使用していると回答した事業者は、製造業で約5割、卸売業で約6割となった。

【業種別】



#### 国産農林水産物の今後の調達量

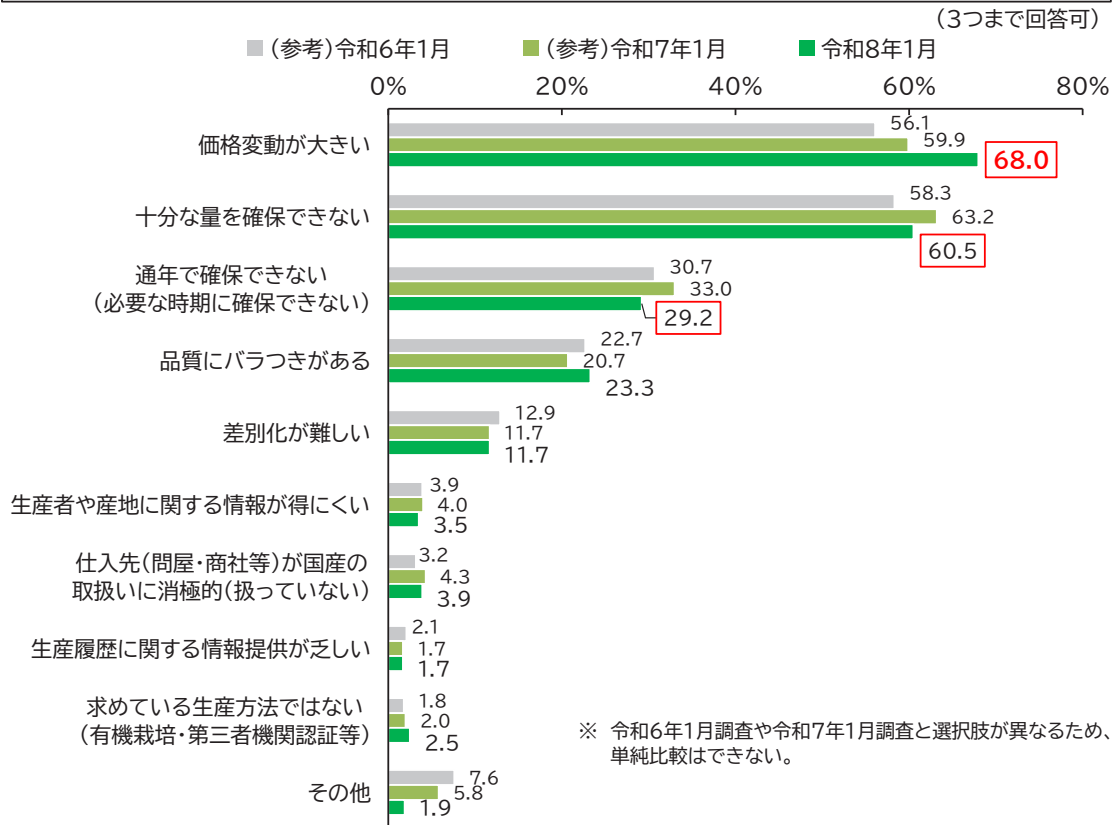
- ・国産農林水産物の今後の調達量は、「横ばい」がすべての業種で最も多かった。
- ・「増加する」と回答した割合は、すべての業種で前回調査(令和7年7月)から上昇した。特に飲食業で大幅に上昇した。



※ n は令和8年1月調査の母数

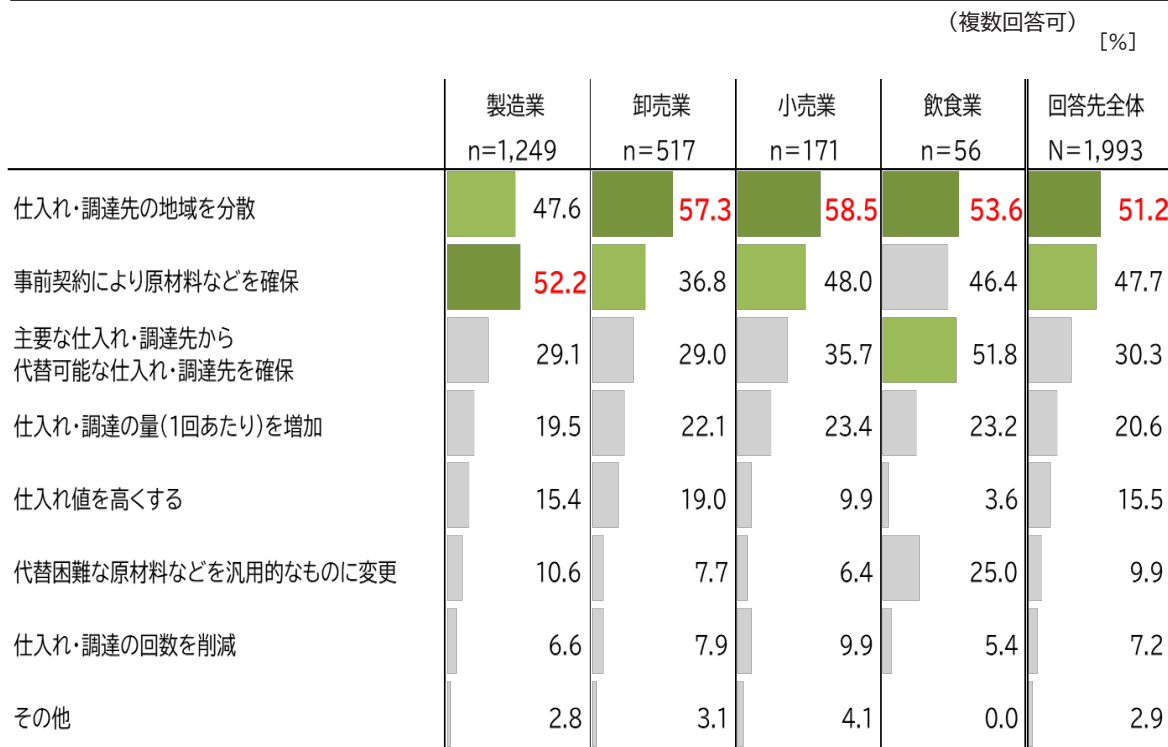
## 国産農林水産物の安定調達にあたっての阻害要因・課題

・国産農林水産物の安定調達にあたっての阻害要因・課題は、「価格変動が大きい」が最も多く、次いで「十分な量を確保できない」、「通年で確保できない(必要な時期に確保できない)」となった。



## 仕入れ・調達段階における取組み

・仕入れ・調達段階における取組みは、製造業では「事前契約により原材料などを確保」が最も多く、卸売業、小売業、飲食業では「仕入れ・調達先の地域を分散」が最も多かった。



※回答した割合が高い上位2項目について、高い順に濃い色で塗りつぶしを行った。